

タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ストリングアート	中	美術 Dグループ (美術)	大槻静恵

<ねらい>

- ・見通しをもちながら、つくったり描いたりする楽しさを味わう。
- ・手指の動きを十分に促し、簡単な道具が伝えるようにする。

1. 手順を理解して取り組むことができる。
2. 自分でデザインを決めて、取り組むことができる。
3. キリや金づちの道具を安全に扱うことができる。
4. 手指をしっかりと使い、力を調整しながら釘を打ったり、糸を引っ張りながら巻いたりすることができる。

<活動内容>

(1) 土台の板

- ①板にやすりをかける。
- ②刷毛を使って、板に木材保護材を塗る。

(2) デザインを決める

- ①共通のデザインとして、『鳥』、その周りの模様として○、△、□、☆の中から好きな形を4個選ぶ。

(3) キリで穴を開ける

- ①板の上の下絵を置き、マスキングテープで固定する。
- ②印の黒点に合わせて、キリで穴を開ける。
- ③釘で打つ。

(4) 糸を巻く

- ①好きな色の刺繍糸を選ぶ。
- ②模様の外側の釘を囲うように糸を巻く。
- ③全て巻き終わったら、中心に向かって様々な方向へ糸を引っ張りながら巻いていく。

※最初と最後の玉結びは、教師が行った。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）>

作業スピードに差があったため、同じ活動をゆっくり丁寧にを行うようにした。同じ活動を繰り返し取り組むことで、生徒達も見通しをもち、また回数を重ねることで自信をもって取り組むことができていた。

釘を打つ際、洗濯ばさみを活用して釘を固定するようにした。洗濯ばさみを使うことで釘が安定し、打ちやすくなった。また、洗濯ばさみの高さで釘が止まるため、終わりが分かりやすかった。